

教育目標「学び合い 高め合い 共に伸びる子」



佐渡市立七浦小学校

# 学校だより

令和3年9月29日発行  
新潟県 佐渡市立  
七浦小学校



No. 7

♪ 来られる時 に 来られる方 から さわやか あいさつ うらら ななうら ♪

次回は10月7日に開催！7:40～8:00 玄関前でお待ちしています！

## はき物をそろえる

校長 山口 明美

秋晴れの空の下で、子どもたちはマラソン練習に励んでいます。頬を伝う流れる汗が爽やかさを運んでくれます。やはり、秋は実りの秋です。様々な子どもたちの活躍を応援したいと思います。

9月27日（月）の午後、5・6年生が稲刈りに出かけました。恒例の見送りをした後、子どもたちの靴箱に目を向けると、靴がとてもきれいに並べられていたことに感動しました。「あいさつ」と「返事」に関しては毎月の生活目標に掲げて取り組んでいます。しかし、「はき物をそろえる」ということに関しては、取り上げて指導した記憶がありません。当たり前のようにできていることに、子どもたちの学校生活への向き合い方が現れていると感じました。

1つのことを丁寧に行うということはとても大切なことです。脳科学の研究によると、脳には側坐核というところがあり、その部分はなかなか活動しないそうです。ところが、はき物をそろえるという行為を続けていくと、その部分からやる気スイッチが入る物質が出るそうです。脳科学の面からみても、はき物をそろえるということは意味があるのです。外国には、このようなはき物をそろえるという文化はないそうです。日本独自の文化なのです。日本が誇れる「思いやりの文化」とも言えるでしょう。

7月に「新潟県いじめ防止基本方針」が改定されました。また、新潟県いじめ問題対策連絡協議会のメッセージが届けられています（最終面参照）。また、七浦小では、いじめ見逃しゼロスクール集会を9月29日（水）に行いました。はき物をそろえ、心を整えることは、いじめ防止の一つにつながるのではないのでしょうか。

最後に、長野県の円福寺というお寺の住職である藤本 幸邦（こうほう）さんが作られた詩を紹介します。

はきものを そろえると 心もそろう  
心がそろうと はきものもそろう  
ぬぐとくに そろえておくと はくとくに 心がみだれない  
だれかが みだしておいたら だまって そろえておいてあげよう  
そうすればきっと 世界中の 人の心も そろうでしょう

